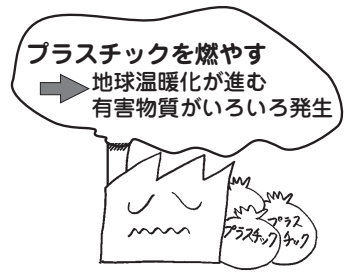




めざせ！ごみ減量 さらに 廃プラスチックの 資源化拡大を



4月から、プラスチックごみも燃えるごみとして回収されています。焼却炉のない区として、「何でも燃やしてしまうからいいや」などということのないよう、ごみの減量に取り組まねばなりません。荒川区のプラスチックリサイクルはペットボトルと白色トレイだけですが、葛飾・江戸川など10区は他の容器包装プラスチックリサイクルも実施。荒川区ももっと、廃プラスチックの資源化をすすめるべきです。さらに、生ごみ資源化を始めることも必要です。

荒川区が「環境先進区」と名乗るなら、事業者に甘く、自治体の負担が過大な容器包装リサイクル法の見直しを国に求めることや、徹底したごみ減量・リサイクル推進を行うべきではないでしょうか。

ちょいメタ（小太り）が長生き

メタボリック症候群予防事業が始まるが、保健指導判定値には科学的根拠がないと医師から批判が出ている。数値にとらわれすぎることなく健康指導を実施するべきではないか。

区：さまざまな考え方があることを承知している。数字のみにとらわれず、総合的に判断して保健指導を行いたい。



緑を増やす努力を!!

最近完成した道路は街路樹がとても少ない。できれば常緑樹を植えて欲しい。樹木がダメなら、つる性植物の活用ももっとできるはず。道路わきの植生の点検も行うべき。生け垣を増やすためには、震災時に危険なブロック塀の撤去費用も補助することが必要ではないか。

区：区としても緑を増やしたい。花とみどりの基本計画のなかで具体的に検討する。



要望 しました

一人暮らし高齢者や 高齢者のみ世帯への支援を

- ・見守り活動として、高齢者向け区報などのニュース配布を。
- ・社会福祉協議会主催のいきいきサロンの区内各所実施のためにコーディネーターの増員を。

子育て支援を

- ・病後時保育は区内1箇所（町屋・上智厚生館保育園）のため地域間格差の解消を
送迎のほか、スタッフ派遣もあっていい
- ・一時預かり事業の拡大を

障がい者支援を

- ・視覚障がい者の施設があるのに、三河島駅周辺に点字ブロックがない。道路課と障がい者福祉課が連携して、点字ブロックを優先して設置する場所を検討してほしい

職員研修の徹底を

- ・窓口対応がよくなったとはいえ、「けんもほろろ」で区民に対応する職員がいるのも事実。相談に来て
いる区民の気持ちに寄り添う配慮を

火災報知器取り付け支援を

- ・無料配布した火災報知器の取り付け率40%はお粗末。100%をめざしてほしい